

平成27年
第89号

大鉄協

9月20日
発行ホームページでも
ご覧いただけます大阪鉄螺卸商協同組合
<http://www.daibyokyo.com>

マッター・ホルン(標高4,478m) 藤森勝治

- ◇第45回通常総会 2
- ◇新三役就任挨拶 3~5
(増谷理事長、鈴木副理事長、藤澤副理事長)
(中上副理事長、武田専務理事)
- ◇BCP策定支援策のご案内 6
(大阪府商工労働部)
- ◇ねじ商連 第40期通常総会 7
- ◇組合だより 7
- ◇第67回野球大会 8~9
- ◇2016年版ファスナーカレンダー 9
ねじ手帳、ダイアリー発刊
- ◇委員会だより 10~12
- ◇支部だより 12~14
- ◇第28回FE STセミナー 14

目
次

- ◇OS会の頁(西沢昌邦、高橋聖志) 15~16
- ◇随想投稿欄 16~19
(園田徳郎、檜垣俊行、森 大助)
(中石高嗣、丸山孝明)
- ◇第6回 硬式テニス大会 19
- ◇岸和田製鋼、TONE 見学会 20
- ◇第41回 ボウリング大会 21
- ◇第4回 ランニング同好会 21
- ◇[シリーズ] 私の宝物(近藤 淳) 22
- ◇表紙のことば 22
- ◇今後の主な年間スケジュール 23
- ◇編集後記 23
- ◇協賛広告 24

新理事長に増谷氏、“若返り”新体制へ 第45回通常総会開催

第45回通常総会が5月22日“ヴィアーレ大阪”で開催され、平成26年度事業報告や決算、27年度事業計画、予算など計9議案について審議、原案通り承認されました。任期満了に伴う役員改選では、第16代の新理事長に増谷彰彦氏（増谷ボルト）を選出し、同氏を中心とする“若返り”新執行部人事が決定、それぞれ運営の任に当たることになりました。

当日は久保哲也総務委員長による開会の辞、司会で進行し、最初に組合関係物故者の冥福を祈り黙祷が捧げられました。そして組合員総数104名中、当日出席63名、委任状提出40名により議決有効が報告された後、小林理事長がロシアの学者クロポトキン提唱による“相互扶助”的言葉を引用し、これを実践するのは難しいが、皆様のご理解・ご協力により現実のものとしていきたい旨挨拶しました。

次いで組合事業協力者表彰に移り、特賞・8社、金賞・8社、銀賞・14社、銅賞・10社が受賞、代表して特賞のサンコーラインダストリーはじめ計40社の各賞代表に感謝状と記念品が贈られました。また銅賞規定に満たない組合事業協力者（計10社）に対しても記念品が贈呈されました。

このあと小林尊敬氏（小林鉄螺）を議長に選出、①平成26年度事業報告、②同年度収支決算、③同年度利益金処分案、④平成25年度経費の賦課する額並びに徵集の時期及びその方法、⑤組合借入金残高の最高限度額、⑥平成27年度事業計画、⑦同年度収支予算案、⑧理事及び監事の選任、⑨その他—計9議案の審議に入りました。

このうち平成27年度事業計画では7項目（別項）の事業が決定、これに基づき総額1億110万円の予算案が計上され、承認されました。

また理事及び監事の選任の件では、議長が役員の選出方法について諮詢したところ、指名推薦方式の採用が決まり、谷川清石氏を選考委員長とする計13名の委員により別室で協議が行われました。この結果、31名の理事候補、2名の監事候補が発表され、出席者の賛同を得て承認されました。

このあと新理事らによる第1回理事会が別室にて開催され、小林三洋氏から新理事長に増谷彰彦氏を選出したことが報告された。そして増谷新理事長から、副理事長に鈴木啓次、藤澤義弘、中上真一の3氏、専務理事に武田等氏を選任したと新三役が発表されました（詳細別項）。

続いて増谷新理事長が、亡き大西進理事長の思い出を前置きに、皆様のご協力のもと私も微力ながら組合のお役に立っていきたい旨就任挨拶を述べました。

また増谷新理事長からの提案事項として、本総会をもって執行部役員を退任する小林三洋、谷川清石、西幸男、勝亦良彰、原田棟弘、山田一仁の各氏に、組合運営の労を謝し記念品が贈呈されました。

最後に、細山田秀明相談役・理事の音頭による万歳三唱とともに、西幸男氏による閉会挨拶が行われ総会を終了しました。

このあと大阪府商工労働部や大阪市経済戦略局、大阪府中小企業団体中央会、（一社）大阪卸商連合会らの来賓多数を交え、増谷新理事長による挨拶に続き、由良豊一相談役・理事の乾杯の発声で懇親会が開宴。組合員相互が懇親を深める中、午後6時過ぎ藤澤新副理事長による“1本締め”で盛況裡に閉会となりました。



総会の模様

至誠を持って

【就任挨拶】



この度理事長に選任されました増谷でございます。就任にあたりご挨拶申し上げます。浅学菲才でございます。理事長という大役をお受けできる器ではございません。三役、理事、そして組合員の皆様方のご支援ご協力、ご参加をもって何とか務めさせていただきたいと思います。

副理事長にアサヒアペックス・鈴木様、コムウエル・フジサワ・藤澤様、弘陽工業・中上様を選任させていただきました。また、今期も専務理事を選任させていただきました。専務理事は定款にはありますが、慣習的に会計理事という役職としておりました。専務理事を置く目的はあくまで三役会、理事会の活性化でございます。専務理事には三晃商店・武田様にお願いいたしました。前期に、前理事長の第一ボールト・小林様、前専務理事の三喜鉄螺・勝亦様に専務理事の役職を置いて頂き、三役会、理事会等の組合運営が大変スマーズに機能いたしました。今期も組合運営に役立てる役職になろうかと思います。

そして総務委員長にミヤガワ金属販売・宮川様、経営委員長に山一精工・桂様、労務委員長に梅田精密・梅田様、業務委員長に垣内螺子商会・垣内様、福利厚生委員長にホンダ鉄螺製作所・本田様、広報委員長に北川製作所・北川様、EDI委員長に由良産商・由良様、JIS検討委員長に井上金属工業・井上様をそれぞれ選任させていただきました。

わが国経済は、消費税増税の影響が予想以上に長引き、増税後のGDPが2四半期連続でマイナス成長となり政府は消費税10%への再増税を平成29年4月への先送りを決定する中、10月末に行った日銀の追加金融緩和による円安定着や原油価格の下落で、自動車、電機などを中心に企業の輸出、生産が伸びたことで、上場企業では2015年3月期の経常利益が最高益の見込みとなりました。

しかしながら、現時点での景況回復は大手

理事長 増谷 彰彦

企業が中心であり、中小企業においては円安による輸入原材料が高騰し内需型の中小企業ではその回復を実感するまでには至らず、厳しい経済環境が続いております。

鉄螺業界におきましても我々の扱い商品の鉄螺・ねじ・締結部品は生産財であり、幅広い業界に関わっており、厳しい状況で推移しております。

そのような環境の中で、大阪鉄螺卸商協同組合では、鉄螺流通業の育成発展、組合員の社会的、経済的地位向上を図るため、各委員会が活動しております。総務委員会では、総会や忘年会の設営。特に今年は大阪鉄螺卸商協同組合が担当で、日本ねじ商業協同組合連合会の第40期通常総会を開催することとなり、大変活躍していただき、各方面から絶賛していただきました。経営委員会では、講演後援会の設営、FPセミナー（社長塾）を開催。労務委員会では、工場見学、FEセミナーの開催。検定制度も他団体からも大変注目されております。業務委員会では、各種出版事業で組合に大変貢献いただいております。福利厚生委員会では、野球大会、テニス大会、ボーリング大会で各組合員の親睦が図れています。広報委員会では、組合機関紙「大鉄協」の編集、企画。EDI委員会では、Nシステムの普及など。JIS検討委員会では、新規格の研究。このように当組合では、順調かつ健全に運営しております。

「全員参加」「全員行動」「全員飛躍」「全員感謝」という気持ち、また至誠を持って、アクティブに組合運営にあたり、組合員の皆様と共に行動発展していきたいと思っております。

当組合も、歴代理事長、役員、組合員の皆様に支えられ、60年以上の歴史を刻むことができました。どうか皆様今後もご協力、ご支援のほどお願い申し上げます。

最後に、今回日本ねじ商業協同組合連合会総会において、お手伝いいただきました皆様には、大変感謝しております。ありがとうございました。

副理事長就任にあたって

【就任挨拶】



この度の総会で副理事長の重責を拝命いたしました。

なにぶん、ねじの事業界の事をあまり理解できていませんが、微力ながら増谷理事長を精一杯盛り立てる所存です。

先ずは、皆様方のご支援とご指導・ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願ひいたします。

執行部の仕事は色々あるようで、大阪府や大阪市・近畿経済産業局などへの挨拶から

副理事長 鈴木 啓次

P R に始まり、中小企業団体の総会や会議等のお付き合い、又日本ねじ商連との連携を深め事業をより一層良いものにするための様々な交流、まだ全然把握出来ていませんがこれから諸先輩方の教えを受け、大鉄協組合員皆様方へ少しでもためになる情報などを提供できますよう頑張ります。

これから、二年間私なりに精進してまいりますので、皆様方には重ねてご指導賜ります事をお願いいたします副理事長就任のご挨拶とさせていただきます。

副理事長職に対して

【就任挨拶】



副理事長職として直近の私の活動は、去る7月24日～25日、日本ねじ商業協同組合連合会第40期通常総会を、有馬グランドホテルにて大阪主催で行い、無事に終了出来ました。その影には、担当

スタッフ各位により水面下で段取り手配をし、抜かりない気配りにより問題なく終了できたと感謝しております。

その後8月4日に、平成27年度ねじ商工連盟通常総会へ増谷理事長に随行し、商・工各地域交えての情報交換を行いました。規格の切り替えガイド資料の現状も、意見交換を致しました。

私の三役の立場での専任する委員会は、総務・労務です。総務委員会に関しては、特に先に話をしました日本ねじ商連第40期を、大阪主催（8年ごと）で無事に終了し委員長並びに各委員は、胸をホッと撫でおろしているところです。続いて、12月組合の忘年会・来年1月合同互礼会（関西ねじ協同組合との合同開催は2年に一度）と、予定通りではあり

副理事長 藤澤 義弘

ますが、組合員が一堂に会する場所の手配や段取り他、水面下での気の抜けない活動があります。

労務委員会は、組合の社員を預かってねじに関する教育活動になります。少子化・女性の参加を更に増やす・社員のモチベーションの向上等、引いては組合の地位向上へ繋がるべく活動をしています。幾つかの新規案に関しては、労務委員長よりの報告と致しますので割愛いたします。

副理事長職になって初めて見聞きする活動や参加もあります。増谷理事長と他の副理事長と先ず、各委員会の活動はそれぞれに安心して任せ、組合のこれからしなければならない、2～5年位先の在り様を模索し、かじ取りをしていかなくては、と考えています。

そのかじ取りをする内では、皆様からの御意見をお聞きする時があります。

最後に、増谷理事長を武田さん、鈴木さん中上さんと共に、理事の皆さんと力を合わせて組合を盛り立てまいります。

理事長の手足となって

【就任挨拶】



この度、副理事長を務めさせていただくことになりました。多くの優秀な先輩方がいらっしゃるなかで、私のような浅学菲才の若輩者がこの大役を拝命するのは大変恐縮かつ僭越なのですが、増谷理事長のご指名いただいた光栄を無にすることも憚られましたので、受けさせていただきました。

本来なら理事長を盛り立てることが役割の一つかと思いますが、何分菲才の身ですから、逆にお荷物になるのではという不安に駆られて仕方ありません。ですから、組合運営を

副理事長 中上真一

どうこうするというような高尚なことは、とてもじゃないですが難しく、その部分は、才能溢れる理事長以下他の三役にお任せするとして、私は、理事長の手足となって、身を粉にして動き回させていただこうと思っています。

理事長の手足ではありますが、頭が考える前に（理事長が指示する前に）反応するくらいを目指して頑張って行きたいと思います。その際、考えるより先に手が出てしまう（先走る）ことだけはないようにしたいと思います。いたらぬ私ですが、一所懸命に頑張りますので、何卒皆さんのご指導とご協力をよろしくお願いします。

専務理事就任にあたって

【就任挨拶】



この度、大阪鉄螺卸商協同組合専務理事に就任いたしました武田と申します。長年お世話になっている組合に少しでも貢献したいと思い、お引き受けさせていただくこととしました。まだまだ経験も浅い若輩者であり、はなはだ僭越ではございますが、皆様にご指導いただきながら、この2年間しっかり努めたいと思います。よろしくお願いいたします。

私はこれまで、労務委員会活動と支部活動という二つの組合活動に参加させていただきました。初めてお手伝いをさせていただいた組合活動は労務委員会でのFEセミナーでした。このセミナーでは、正副委員長をはじめとした委員の方々だけでなく、講師の先生までもが、この業界を何とかよくしようと、真剣に取り組んでおられたのが、大変印象的でした。こうした活動を通し、私も業界をより

専務理事 武田等

よくするために何か貢献したいと思っていましたので、今回の就任を大変有難く思っております。

この度の就任に際して、専務理事として何をすべきか、先輩方の意見を参考に考えてみました。専務理事の役割は大きく二つあると思います。一つは会計理事の役割、もう一つは組合運営の円滑化を手助けする役割です。本組合は、総会で決められた事業計画・事業予算を基本に、三役会・理事会・委員会などで運営しています。それぞれの会と事務局との連携を強化することにより、事務局と組合員とのつながりも強化されると考えます。私自身が色々なものをつなぐパイプ役となり、理事長や副理事長を支えることで、事務局の活性化を図り、組合運営に貢献できればと考えています。

ともあれ、皆様のご意見を伺いながら、手探りですが、お役に立てる専務理事を目指して精一杯努めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



事業継続の取組みを支援します！ －BCP（事業継続計画）の策定支援策などの紹介－

大阪府では、大阪府商工会連合会、商工会・商工会議所等と連携し、府内中小企業へのBCP策定支援をはじめ、BCPセミナー・ワークショップ等を開催し、事業継続の取組を支援しています。

BCP（事業継続計画）の策定は、事業を取り巻く様々な脅威への対策だけでなく、取引先に対する信頼性の向上に資するとともに、経営改善、業務の効率化など企業の経営力強化につながるものです。

平成27年度は、下記のとおり、事業継続に関する支援策を提供しておりますので、是非ご活用ください！

事業を取り巻く様々な脅威



家畜伝染病



伝染病・感染症



自然災害



テロリズム



情報セキュリティ事故



サプライチェーンの途絶

●BCP策定支援制度（大阪府商工会連合会実施）

「中小零細事業者用 事業継続計画(BCP)策定ガイドライン」を用い、BCP策定の専門知識を持った経営指導員及び専門家によるBCP策定の支援を行っています。策定支援メニューは3コースあります。

【Aコース：簡易版BCP策定支援】2日支援 費用：無料

従業者が被災時にまず実施しなければならない初動対応に重点を置いた簡易版のBCP策定支援
※ 数名～20名規模の組織にお勧めのコースです。

【Bコース：BCP策定支援】4日支援 費用：30,000円（税抜）

脅威が発生した時の影響を事前に分析し、緊急事態に対処するための組織体制（情報収集、広報、予算管理など）や初動対応に重点を置いたBCP策定支援
※ 20名以上の規模の組織にお勧めのコースです。



【Cコース：BCPブラッシュアップ支援】2日支援 費用：無料

策定済みのBCPをブラッシュアップ（内容の見直し、訓練の実施など）するための支援
※ 既にBCPを策定されている組織にお勧めのコースです。

●セミナー・ワークショップの開催

下記の府内商工会・商工会議所でBCP・BCM（事業継続マネジメント）に関するセミナー・ワークショップを開催します。

9/9 大阪商工会議所 9/18 八尾商工会議所

10/2 東大阪商工会議所 10/8 貝塚商工会議所

10/27 堺商工会議所 1/20 高槻商工会議所

【今後開催予定】

北大阪商工会議所、岸和田商工会議所、阪南市商工会、高石商工会議所、大東商工会議所、羽曳野市商工会

●府HP等を活用した情報発信

府HPでは、事業継続に関する国・支援機関等の支援情報やリスクの情報収集に役立つサイトをご紹介しています。

また、府がBCP策定を支援した企業30社の取組事例をまとめた事例集もダウンロードできます。

事業継続に取り組みましょう！



＜お問い合わせ先＞ 大阪府商工労働部中小企業支援室経営支援課企画調整グループ

〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 (咲洲庁舎25F)

TEL : 06-6614-0871 FAX : 06-6210-9504

新会長に渡辺 昇氏(東鉄協)を選出 日本ねじ商連 第40期通常総会開催

日本ねじ商業協同組合連合会（鈴木建吾会長）は7月24日、神戸市北区“有馬グランドホテル”で第40期通常総会を開催しました。当日は傘下4組合から112名が参加、平成26年度事業&決算報告、27年度事業計画&収支予算案など全9議案を審議、承認したほか理事・監事の改選では渡辺昇氏(東鉄協)を第18代の新会長に選出しました。

総会は藤澤義弘氏(大鉄協)の司会により進行、小林三洋副会長(大鉄協)による開会の辞、鈴木会長の挨拶と進められました。

このあと青木宏志氏(神鉄協)を議長に選出し、①平成26年度事業報告承認の件、②同年度決算報告承認の件、③同年度余剰金処分案承認の件、④平成27年度事業計画案承認の件、⑤同年度収支予算案検討の件、⑥同年度経費の賦課金額及びその徴収方法決定の件、⑦役員報酬決定の件について審議、各々承認されました。

⑧任期満了に伴う理事・監事改選の件は指名推薦方式の採用を決定。議長の指名により小林潔氏(東鉄協)を選考委員長とする計8名の選考委員が別室にて協議した結果、31名の理事候補と2名の監事候補を発表、出席者は拍手でこれを承認しました。このあと承認

メンバーによる第1回理事会が別室にて開催され、渡辺会長以下新役員が決まりました。

⑨第42期通常総会開催担当組合決定の件は、神奈川県鉄螺協同組合に決定しました。

そして渡辺新会長から鈴木前会長へ、感謝の言葉とともに記念品の贈呈が行われました。

渡辺会長は自己紹介とともに様々な意味で節目の年に当たり1980年代の活気ある状況に向け、組織や業界の地位向上、社員教育、ISOやねじの日事業展開など課題を挙げ、“同じ船の仲間”として未来志向で会長職を務めたいとする就任挨拶を行いました。

最後は馬場将嘉副会長(愛鉄協)が閉会の辞を述べ総会を終了、記念撮影を挟み、懇親会も行われました。



挨拶する渡辺新会長

組合だより

◇新社長就任

○中央支部所属

- ・岡總株式会社

代表取締役社長 尾崎 正洋 氏

(平成27年4月)

- ・株式会社 テクノアソシエ

代表取締役社長 新宮 壽人 氏

(平成27年4月)

○本田支部所属

- ・有限会社 川西製作所

代表取締役社長 川西 達也 氏

(平成27年4月)

◇計報

○東部支部所属

- ・園田鉄螺株式会社

代表取締役会長 園田 耕司 様

(平成27年3月1日ご逝去)

○本田支部所属

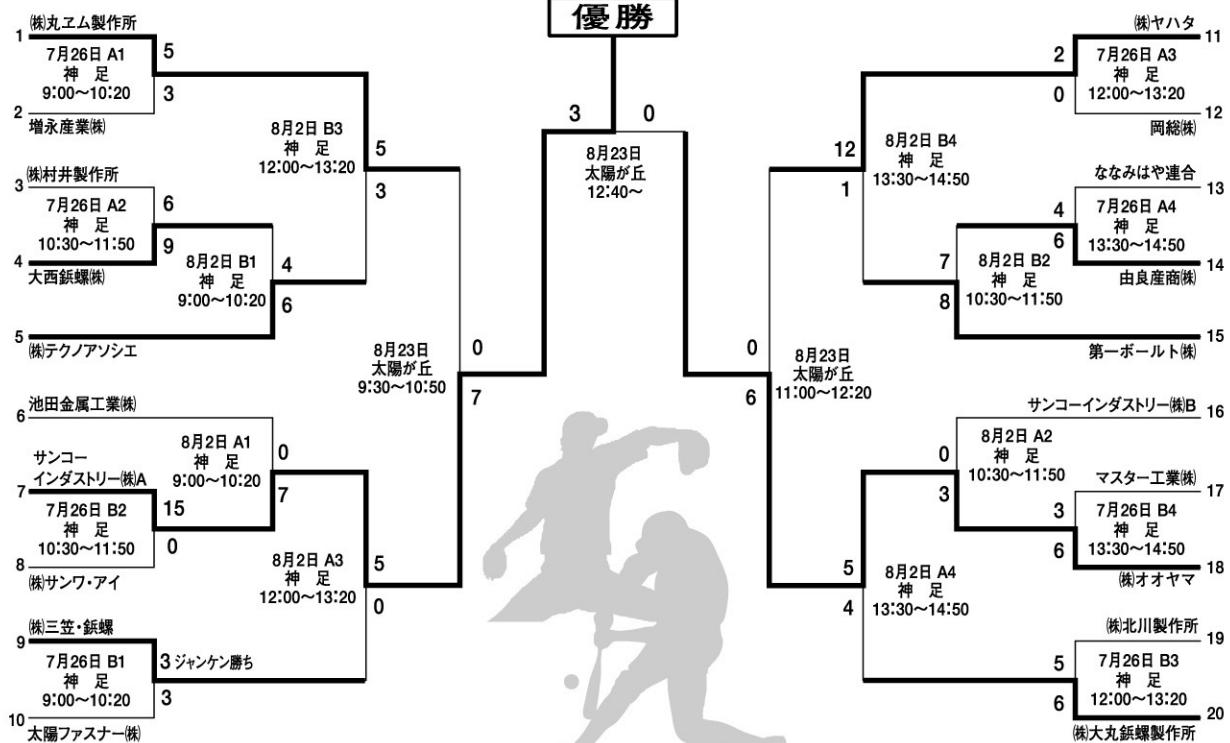
- ・有限会社 川西製作所

代表取締役 川西 利豪 様

(平成27年4月16日ご逝去)

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご報告致します。

大鋼協第67回野球大会



サンコーインダストリーが“V3”

第67回野球大会 準優勝はオオヤマ

第67回野球大会・決勝戦は8月23日、京都府宇治市の山城総合運動公園・太陽が丘球場で行われ、サンコーインダストリーAチームがオオヤマチームを3-0で下し、3連覇を果たしました。

今大会には組合員企業28社から20チームが参加、昨年と違って天候にも恵まれ、これまで7月26日・8月2日と順調に日程を消化しました。当日も時折清々しい風が吹く快晴のもと、準決勝戦2試合および優勝決定戦が行われました。

準決勝第1試合は地力で勝るサンコーインダストリーAが丸エム製作所を7-0で下し、同第2試合は“古豪”オオヤマがヤハタを6-0で破りました。

一昨年の65回大会以来2年ぶりとなるオオヤマ対サンコーインダストリーAの優勝決定戦は12時55分試合開始。試合は1回裏、サンコーインダストリーの先頭打者が四球で出塁、

オオヤマ守備陣の乱れもあって結果ノーヒットで1点を先制しました。その後はオオヤマ・福田投手も立ち直り、4回までサンコーインダストリーを無得点に抑えました。

再び試合が動いたのは5回裏、二死後サンコーインダストリー・下司選手がセンター頭上を越える2ランホームランで追加得点。対するオオヤマは2・3回と反撃のチャンスを作りますが、相手の堅い守りに後続を絶たれ結果無得点に終わりました。

引き続き行われた表彰式では、優勝したサンコーインダストリーAチームに深紅の大優勝旗ほか大阪府知事杯、大阪市長杯、理事長杯などの記念カップ並びに表彰状や盾が、本田裕久・福利厚生委員長から授与されました。また準優勝のオオヤマチームにも表彰状や副理事長杯などが手渡され、関係者の健闘を称える拍手に迎えられました。

なお監督推薦による個人賞では、5回裏に追

加点の“立役者”となった下司裕介選手（サンコーインダストリー）が最高殊勲選手賞に、投手として強豪打線に立ち向かいランナーを出すも計4

イニングを無得点に抑えた福田廣心選手（オオヤマ）が敢闘選手賞に輝きました。



優勝したサンコーアインダストリーAチーム



準優勝のオオヤマチーム

2016年 ファスナーカレンダー ねじ手帳 発刊 ビジネスダイアリー

業務委員会 納期は11月20日予定

業務委員会（垣内龍夫委員長）では例年通り、2016年（平成28年）版ファスナーカレンダーやねじ手帳、A5ノート版ビジネスダイアリーを発刊しますが、日本ねじ商連傘下の他組合および員外者からの受注を含め、いずれも8月17日で申し込みを締め切り、現在準備を進めています。

▽2016年版ファスナーカレンダー
A2版3色刷り縦型、厚手の高級再生紙使用、表紙付き7頁。綴じ方は環境に配慮したエコプレス（紙製）。今回もカレンダー6枚の地色を1枚ごとに変更しています。

掲載ねじ製品写真は、市場価値の高い製品を選び、かつ一般に広く用いられるよう呼び名と英文名を付し、「ねじ製品の一覧表」としても利用できるよう配慮。イラスト入り“ねじ安全使用取り扱い”説明も更新しました。

▽2016年版ねじ手帳
縦型（縦150mm×横92mm）。総224頁=切り取りミシン付きメモ16頁追加。ねじ一覧表：写真付き12頁。ねじ重量表、ねじ規格表40頁。鉄道路線図その他。

表紙高級ビニール装。表紙の色は紺。葉（しおり）代わりのリボンは紺とブルーの2本。新デザインロゴ採用。のし袋付き。

「ねじ重量表（第3版）」より主要製品の重

量表、規格表を掲載し、加えて「ファスナーカレンダー」より写真・製品名を（ねじ一覧表）として追加。

▽2016年版A5ノート版ビジネスダイアリー
縦型（縦210mm×横148mm）。総208頁=ねじ一覧表：写真付き12頁。ねじ重量表、ねじ規格表40頁。その他。

表紙高級ビニール装。表紙の色はライトブルー。ロゴは前年同様。のし袋付き。

「ねじ重量表（第3版）」より主要製品の重量表、規格表を掲載し、加えて「ファスナーカレンダー」より写真・製品名を（ねじ一覧表）として追加。

いずれも年末・年始の贈答用として11月20日納期に向け準備中です。



カレンダー(見本刷)



ねじ手帳(左)と
ダイアリーの
仕上がりイメージ

委員会だより

セミナーいろいろ

労務委員長 梅田 真吾

本年度、労務委員長を務めさせて頂くことになりました株式会社梅田精密の梅田です。平素は、労務委員会の活動に対し、多数のご参加を賜り、誠にありがとうございます。

本年度の活動計画ですが、既に6月4日に電炉メーカーの岸和田製鋼及び締結工具メーカーのTONE(トネ)河内長野工場の二箇所の工場見学を行い、19社34名のご参加をいただきました。

今後のセミナー予定は、10月に図面の見方・描き方コース(2日間)、11月にFEセミナー・ジュニアコース(1日間)、来年3月にFEセミナー・スタンダードコース(2日間)の開催が決定しております。

また新規開講として、FEセミナー・旋盤フライス盤体験コース(仮称)を計画しております。実際に金属を削る体験をすることで、金属加工の知見を拡げていただく絶好の機会になるのでは…と考えております。詳細が決まり次第、ご案内させていただきます。

組合員の皆様におかれましては、当委員会の活動に一層のご理解を賜り、各セミナーに奮ってご参加頂けますようお願い申し上げます。

今年は晴天

福利厚生委員長 本田 裕久

残暑お見舞い申し上げます。平素は福利厚生事業にご協力、ご参加頂き有難うございます。

今年は天気に恵まれ、第67回の野球大会も無事に終了し、サンコーインダストリー(株)Aチーム優勝にて幕を閉じました。

昨年は雨と台風に泣かされ続けた大会になりましたが、今年は好天続きで順調に消化しました。しかし、やはり天気がいいと暑い!7月初めまでは結構涼しくニコニコしていま

したが、大会が始まった頃より急に暑くなり、恒例の真夏の大会らしくなり熱中症との戦いになりました。

雨で試合ができず、やり繰りを段取りするのも大変ですが、京都の暑さを乗り切るのもまた大変です。(毎年確実に気温が高くなっている気がします)

選手の皆様、審判の方々、応援の皆様、そして委員の皆さん、本当にご苦労様でした。これからも暑さの中でも気持ち良くプレー、観戦できるように頑張っていきますので来年もたくさんのチームのご参加をお待ちしております。

また、福利厚生委員会ではこの秋、すっかり定着しましたテニス大会(11月8日)、冬には大盛況のボーリング大会(2月28日)を予定しておりますので例年通り多数のご参加をお願いいたします。

今まで以上にチャレンジ

経営委員長 桂 知伸

平素は経営委員会にご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。

本年度の第8回社長塾は会場を新たに大阪産業創造館で行い、今回は逆境(倒産の危機や社内軋轢等)を体験された講師の方を中心に2月から7月まで毎月1回、合計6回開催し皆様からご好評いただき無事に終了する事が出来ました。

今後の予定と致しましては12月4日(金)ホテルグランヴィア大阪での忘年会の前に講演会を開催致しますので皆様のご参加をお待ちしております。

経営委員会は増谷理事長の新体制のもと近藤副委員長、委員会のメンバーと共に今までの組合の理念は継承しながら今まで以上にチャレンジし組合の皆様の為の活動をして参りますので何卒ご協力よろしくお願ひいたします。

日本ねじ商連総会の大役を終えて 総務委員長 宮川 勝

先ず初めに、先日開催された日本ねじ商連総会が無事に終わったことにつき、増谷理事長並びに理事会皆様に感謝を申し上げます。

7月24日～25日、兵庫県・有馬グランドホテルにて神奈川、東京、愛知、大阪と総勢約110人にも及び組合員様が集まる大総会でした。新神戸駅のお出迎えから始まり、受付、常任理事会、総会、懇談会又最後のホテルでのお見送りまで無事何事もなく完了する事が出来ました。

ですが、今回の総会で自分なりに精一杯やりましたが、細かい部分で至らぬ点が多くあった事についてお許しください。次回大阪が主催する総会は約8年後となります。総務委員としては、理事会にて今回の至らぬ点については反省点を洗い出し、次回総会をグレードアップして行きたいと考えております。

今後の総務委員会の予定に関しては、増谷新理事長のもと集まった新メンバーでの総務委員会を開催します。又、忘年会を12月4日にホテルグランヴィア大阪にて執り行う予定です。今回は増谷理事長新体制のもと新しい催し物も企画、又豪華景品も充実させ忘年会を開催しようと考えております。

最後になりましたが、来年の新春互礼会は1月8日にシティプラザ大阪にて関西ねじ協同組合との合同開催となり、大鈿協が主催となります。新年早々組合員皆様には色々とご協力を頂かないといけないことが多々あるかと思いますが、何卒ご協力の程よろしくお願ひ致します。

新体制の財源確保に寄与 業務委員長 垣内 龍夫

残暑お見舞い申しあげます。

大鈿協も増谷氏が理事長に就任され、新体制で動き出しました。増谷カラーを全面に出され、伝統を継承しつつ、新しい風を送り込まれることと思います。微力ではございますが、業務委員長といたしまして少しでもお役に立てる様努めていきたいと考えております。

さて、平素は共同購買、保険、出版、カーリース等各事業に対しまして、多大なるご協力を賜り誠にありがとうございます。おかげ様で各事業も順調に滑り出しております。特に、恒例となっておりますねじ手帳、A5ダイアリー、ファスナーカレンダーの売り上げは組合財源の中心となっていますので、高い販売目標をたてていますが、各業務委員様をはじめ事務局の小林さんの協力をいただき、ここ数年は目標を達成する事ができています。また、カーリース事業も前年よりも契約数が増えていますが今一層のご協力をお願いいたします。保険事業については、保険会社が直接、訪問営業させていただくこともあるかと思いますが、よろしくお願ひいたします。

最後に、新体制の財源確保に寄与できるように組合員皆様方のご支援をいただきます様重ねてお願ひいたします。

Nコードの理解、活用を

EDI委員長 由良 泰雅

私が大鈿協に理事として参加することになったのは今から遡ること二年前、OS会の代表幹事を務めた年でした。何も分からぬままにEDI委員会の所属となり、大喜多前委員長を始めとする先輩諸氏の話を伺い、極微量しか無い脳細胞を総動員させて必死に理解しようとしていた末席の私がおりました。そんな私がまさかEDI委員会の委員長になるとは微塵も予想しておらず、本日まで茫然自失のまま日数だけが流れています。従いまして「委員長」と呼ばれるのもおこがましい限りなのですが、ご指名につき簡単に当委員会の活動についてご説明させて頂きます。

当委員会では①N-EDIの普及に向けた新規会員の勧誘②Nコードのメンテナンス③OSのバージョンアップに伴うシステムの改修④メーカーに対するNコード情報を入力したQRコード貼付の依頼、等が主な活動となります。まずは業界唯一である統一商品コード「Nコード」を知って頂き、活用する事によるメリットを広くお知らせすることが普及に繋げる第一歩であると考えております。

と書きましたが、これらの全ては前委員長

である大喜多様が長年ご苦労されて構築、活動されてきたものであり、新米のへなちょこ委員長としては着実に引き継いで発展させていく事が使命と重責を感じている昨今です。

唯一胸を張れることが「自社システムにN-EDIを導入した」だけ、という情けない私ではございますが、皆様もご存知のとおり

「EDI」というものは恋愛と同じで一人ぼっちでは成立しません。組合員の皆様にも是非ご興味を持っていただき、1社でも多くの会員様に活用して頂けるよう委員会を進めて参りますので、導入のご検討も含めご指導、ご支援のほど宜しくお願ひ申し上げます。

支部だより

新体制がスタート

九条支部長 馬渕 健司

残暑お見舞い申し上げます。今年の夏も暑い日が続きましたが、組合員の皆様方はいかがお過ごしになられましたでしょうか？

九条支部では5月から新しい体制がスタートしております。副支部長に(有)久保製作所の久保氏、(有)平野製作所の平野氏、会計幹事に(株)谷川精螺の佐藤氏、幹事には(株)大和製作所の梶山氏、(株)山田製作所の山田氏、エヌエスメタル(株)の吉岡氏、(株)梅田精密の梅田氏、そして新たに(株)平田ネジの平田氏にも加わって頂きました。

非常に心強い皆様と一緒に、今後支部運営を行って参りますのでどうぞ宜しくお願ひ致します。

今後の支部行事としましては、9月に恒例の九伸会ゴルフコンペ(本田支部と合同)、納涼イベント、来春には親睦旅行を予定しております。多くの皆様にご参加頂けますこと、並びに支部運営にご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

役員若返り?

西部支部長 三木 茂晴

今年度より、太洋ねぢ(株)の原田さんの後を受け、支部長を仰せつかりました三木です。

副支部長に(有)本螺旋製作所の有本さん、会計幹事に大弘鉄螺(株)の森口さん、幹事に大和鉄螺工業(株)の辻さん、サンコーワンドスリー(株)の奥山さん、井上鉄螺工業(株)の小浦さん、計6名で支部運営をしてまいります。皆様どうかよろしくお願ひします。

早速、6月に支部旅行&支部総会に行ってまいりました。支部旅行先は、おいしいカニの時期ではありませんが、城崎温泉に行ってまいりました。最高級の旅館に宿泊するという絶対に高級感を外さない旅行がありました。その旅館の浴衣を着て歩いているだけで、地元の人の見る目が違うらしい…(笑)。城崎温泉に立ち寄る途中で、今話題の竹田城跡に行ってきました。観光客が増えたおかげで道の駅もあり舗装もされており比較的行きやすかったです。一度は行かねばと思っていた日本のマチュピチュ。良かったです。そこで気づいたことは、写真で見る雲海に浮かんでいるかのように見える城跡を見るならば、秋口から冬にかけ、早朝の気温差が大きい日に、隣の山から見ることです。勉強になりました。また、支部総会では上記6名の役員承認と、年度決算報告の承認を頂きました。

それにしても、年に一度の支部旅行&総会は、いつも楽しいです。来年の旅行幹事さんもよろしくお願ひします。

こんな感じで西部支部は楽しく、明るく、元気いっぱい活動してまいります。2年間どうかよろしくお願ひします。

全員が師となり生徒となれる支部に

東部支部長 和田 正

東部支部の今期の活動は親睦を深める事を主に進めてまいります。ただこれ以上親睦を深める事は難しいほど東部支部は仲良く出来ています。しかしながら厳密に申し上げると各支部員の組合参加年数や年齢差は当然あり、各年齢層や日頃の付き合い事にいつも会話をする相手が固まってしまっている感もあります。

今後の活動において今まで以上に多くの支部員と会話が出来る環境をつくり、その会話の中から必ず得るものがあると思っております。全員が師となり生徒となれる支部に出来ればと考えております。

さて東部支部の活動予定ですが支部恒例となっております社員さんも参加の納涼大会を去る7月10日にミナミの「ソーニデソーニ」で開催致しました。各お会社の社員さんの元気さに圧倒されつつも幹事も楽しめた会となりました。

次の予定は10月9日～10日の2日間で別府温泉方面への秋の支部旅行を計画しました。多数の参加で更に親睦を深める旅行となる様、幹事一同全力で対応したいと考えております。

またこれも恒例の毎年2月の第二月曜日に開催の支部新年会も抜かりなく計画し楽しい会となる様に努めてまいります。支部会員皆様のご参加、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

より一層の結束を図ります

中央支部長 小西 弘美

暑さも幾分和らいで来ている様に感じますが、支部の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。中央支部に於きましては、3月に田中龍商店様が脱退され組合員数が22社となりました事を報告致します。

さて、2015年は節目の多い年でも有り、思いつくだけでも、終戦70周年・日航機墜落事故から30年・高校野球全国大会が始まって100年・我が阪神タイガース球団創設80周年と何かと節目が多いと感じます

支部長を仰せつかり5年目、これも節目かと考えます。支部活動運営に付きましても歴代支部長様が築いて来られた過去とこれから継続していく未来との融和を考えて行く節目、益々支部隆盛の為には支部の皆様方のご理解と協力が必要となりますので、宜しくお願ひ致します。

話は変わりますが、『大鉛協』が発行される頃には、「行って来ました」になっていますが、2年連続の海外研修を支部総会時に決めました通り、9月4日～6日の日程で韓国済州島へ行きますので、くれぐれも体調管理に気を付けて頂き、参加者様全員が記憶に残る旅行にしたいと思いますので、当日は参加者様全員にお会い出来る事を楽しみにしております。

重ね重ね支部行事に協力頂き心から御礼申し上げます。尚、都合に依り参加出来ない組合員の皆様方におかれましても健康に留意して頂き、2015年の暑い夏を乗り切りましょう。

和気藹々とした雰囲気を

本田支部長 大喜多 正己

日頃は本田支部の運営にご協力いただきありがとうございます。本年度の当支部の動きをお伝え致します。

5月13日に支部総会を開き、本年度の支部役員を決定しました。その後、組合総会で正式に支部長が決まり、7月1日に最初の支部幹事会を開催、本年度の活動がスタートしました。

8年ぶりに大鉛協がホスト役となって有馬温泉で7月24～25日に開催された日本ねじ商連総会では、本田支部は新神戸駅でのお迎え・ご案内という役割を仰せつかり、若手からベテラン(?)まで力を合わせ、努めさせて頂きました。

例年ですと次は冬の支部旅行、そして春の虎観戦となるところですが、支部のコミュニケーションの機会をもっと増やしたい、また本田支部ならではの催しをしたいと考えました結果、ねじねじ亭ネット師匠こと前野社長様のご協力を得て、10月14日に落語会＆懇親

会を開催することになりました。今から非常に楽しみです。

恒例の支部旅行は3月の12~13日、行き先是現在調整中です。本年度は支部財政的には例年より多少厳しくなっている上に、行事を増やすこともあり、コストとの兼ね合いで旅行企画内容にはそれなりの工夫が要りそうです。いかに「しょぼくなつた」というイメージなく楽しい旅行にできるか、幹事団の腕の見

せ所かもしません。

そして年度の締めくくりには、またいつもタイガース開幕戦観戦@京セラドーム大阪をできればと思っています。

私たち本田支部は、全部で16社。大鉄協でいちばん小さな支部です。少人数ならではの、仲良く和気藹々とした雰囲気を保ってやっていければ、と思っています。皆様のご助力の程、どうか宜しくお願ひ申し上げます。



第28回 FE スタンダードセミナー開催

NQA-Japan監修

労務委員会 25社から53名の社員が受講

労務委員会(藤澤義弘委員長)企画・運営による第28回FE(ファスナーエンジニア)スタンダードセミナーが3月6~7日の2日間、大阪市中央区の鐵鋼会館にて開催され、25社から53名の社員が日本鉄螺(株)西川倫史社長の講義を受けました。今回からスタンダードセミナーと“FE検定”(大鉄協主管のもと新設される試験及び資格制度)は、(株)NQA-Japan監修により実施しています。

初日の開講式は藤澤委員長の司会で進行。梅田真吾・労務副委員長による注意事項説明、小林三洋理事長による開講挨拶に続き、研修に入りました。

講師の西川氏は随所に映画やスポーツ、自動車、パソコン・スマホから天気予報など身近な話題を挙げ、受講生とやりとりしつつ、用意したテキストやパワーポイント画面を交え講義を行いました。

なお初日午後からの講義前には、監修に当たった(株)NQA-Japan(神奈川県横浜市、勝又敏幸社長)の西木寛和マーケティング本部長が自社の概要説明を行いました。

NQAはイギリスに本部を置き、世界70ヶ国に拠点を持つ第三者審査/認証機関。各国有数の自動車・航空宇宙産業ほか全ての産業分野における審査・トレーニングの提供が可能で、これまで伸べ3万件以上の認証発行実績を持っています。各種マネージメントシステムにおける審査/認証や内部監査員研修などのトレーニング以外にも、組織・業界団体の独自トレーニングスキーム支援も行っています。

FEスタンダードセミナーや新設予定のFE検定に関しては、各々の内容定着を確認し、

継続的な力量向上を大鉄協主管のもと、テキスト・演習/試験問題の監修、実施から、修了試験の監修、採点、証書発行および受講者データ管理などに関わります。これにより講師や担当委員が変わっても、一定水準の研修レベル維持が図れる仕組みです。

2日間にわたるスタンダードセミナーの主な研修内容は次の通り。

▽ねじの規格講習、▽ねじの規格演習問題、
▽材料講習①、▽材料講習②、▽材料演習問題、
▽熱処理強度講習①、▽熱処理強度講習②、
▽熱処理強度演習問題、▽表面処理講習、▽表面処理演習問題、▽品質管理講習、▽品質管理演習問題、▽休憩&テスト勉強、▽修了試験&アンケート記入



講師の西川社長



NQAの西木本部長

OS会の頁

やる気・根気・負けん気

(株)ホシック

西沢 昌邦

高校の恩師から高校卒業後にハガキが届き、書かれていた言葉が「やる気・根気・負けん気」。なぜか、すう～と心に入っていく思いがしました。

中学・高校時代、バレーボール部に所属していましたが、中学時代の中途半端に部活に取り組んでいた自分に何十発もの喝を打ち込んでくれた恩師が、私の高校入学の年に赴任されました。

私が入学した時、高校のバレー部は廃部寸前で、先輩部員数5人で活動しており練習試合も当時の顧問の先生が参加することでなんとか活動ができている部でしたが、私を含む新入生が6名ほど入り、ようやく部活動として普通に活動できるようになりました。

日々の練習はもちろん、休みの日は練習試合などで気が抜けたプレーなどすると喝が飛び、日々怒られる毎日。ただただ先生の顔色を窺ってプレーしている自分も嫌になり退部も考えたこともあります。ただ、実際試合で負けると、日々の練習をはじめにやっていたからか、悔しさが非常に残り、先生の怒る内容にも筋が通っていることに気づきだし、色々と充実した頃に引退を迎てしまいました。

現役時代ではただ単に怒られ、そのことを反抗的に考えていましたが、現役を退いてからは改めてバレーを通して教えてもらったことが多かったことに気づき、休みの日も付きつきりで休みなしで教えていただいたことに感謝しています。先生は「やる気・根気・負けん気」という言葉を現役時代など一言も仰らずにいたので、気づかなかつたのですが、改めてハガキでその文字を見たときに、その信念をバレーを通じて教えてもらっていたのだと改めて気づきました。

今でも会うときは尊敬しながらも怖さを感じてしまうのに、昨年はLINEのIDを乗っ取られる事件が起き、乗っ取った者が「iTunes Cardを購入してください」と、あろうことか恩師にメッセージを送り付け、恩師が私に「こんなメッセージきとるぞ」と連絡がきた時が、昨年で何よりも血の氣の引いた恐ろしい出来事となりました。

会社に入社して6年、OS会に入会して2年が過ぎましたが、頂いた言葉を思い返し、色々と教えていただくて頑張っていきたいと思います。

とりあえず、LINEのIDにはパスワードをつけ、恐ろしい出来事が二度と起きないように乗っ取り対策はさせて頂きました。

『樂苦美』

(株)三笠・鉄螺

高橋 聖志

“樂苦美”私が12歳でラグビーを始めた際、監督に言わされた言葉です。当時の私には“樂”しいと“苦”しいは水と油の様に相反する言葉で決して混ざり合う事は無いと思っていたので、この表現を100%理解するには至りませんでした。しかしプレーするに連れて“樂”しいと“苦”しいは紙一重のように感じられました。それは例えば試合中トライを1つ取る為に、全員がジャージを土まみれにしグラウンドを駆け回り全員が縁の下の力持ちになる。それはただただ“苦”しいだけですが、その自我を捨てチームプレーに徹する姿は“美”しく、さらにその先には勝利した時の“樂”しさが待っています。正に前述した全ての言葉がリンクしている素晴らしいスポーツだと私は思います。

残念ながら、このラグビーというスポーツは発祥国である英國では紳士のスポーツと呼

ばれていますが、日本では3Kスポーツと呼ばれ『危険、キツい、汚い』との認識が強い為か競技人口は少なくマイナースポーツの域を脱していません。

最近2019年のラグビーW杯決勝の舞台として予定されている新国立競技場が何かと

話題となっていますが、この“苦”しい状況を打破し、本番では選手達の“美”しいスーパープレーを沢山見る事が出来、日本でラグビーを“楽”しめる人々が1人でも多く増えるきっかけとなる大会になって欲しいと願います。

隨 想 投 稿 欄

私の街

園田鉄螺(株)
園田 徳郎

私は名張生まれの名張育ち、現在も名張に住んでいる。

名張とは三重県名張市で三重県西部に位置し忍者で有名な伊賀地方に属し、面積約130km²、人口約7万8千人の市で周囲には赤目四十八滝や香落渓といった渓谷を含めた美しい自然に囲まれたところであり、夏には市内を流れる名張川でアユ釣りなども盛んです。

一方、近鉄線で大阪鶴橋まで約1時間という位置にあるため大阪のベッドタウンとして1980年代より大規模な住宅地が開発され急激に人口が増加しました（一時期、人口増加率で日本一になったとか？）。

そのように開発も進み新しい街並みや商業施設なども多くできてきましたが、私の家は古くからある街で周りには田、畑があり我が家にも田、畑があります。

休日ともなりますとその管理をしなければなりません。田圃での稲作り、菜園での野菜作り（家庭菜園程度）、草刈等雑草の処理、特に夏は忙しい日々を過ごしています。

また田舎でありますので地域や近所の付き合い、親戚の付き合いも深く古くからの慣習もあり大層であったり面倒であったりします。今年のお盆も私の家が初盆であったため自宅に簡単な祭壇を組み、新仏様をお祭りします。それを14日に親戚、ご近所、知人など多数の方々がお参りしてくれますし、逆に初盆でない年は関係のある初盆の家々をお参りに回るわけです。

秋には氏神様である宇流富禰神社のお祭りがあり私の地区でも松明を立て、武士の様に袴を着用し、神事を行ない、神社まで行列をします。また若い者は神社で獅子舞を奉納しており私も数年前まで参加していましたが、この獅子舞1か月前から毎晩練習を積み本番に臨みます。

そのほか年に数回地区の共同作業として草刈りや水路の清掃も必ず参加しなければなりません。

このような付き合いは面倒で大変ですが近所づきあいが希薄になっている現在、この地域の強い結びつきは大変重要なことだと思います。私自身大変がっていますがこの田舎の近所づきあい結構楽しんでいるところがあります。街の誰とでも（ちょっと例外はある）気楽に話できることは最高です。

やっぱりこの街、この生活、大好きだ！

事業承継とその前提化について

小林産業(株)
檜垣俊行

最近、ロッテや大塚家具など事業承継に關係した話題を多く耳にします。また私たちの鉄螺業界でも、いわゆる代替わりが行われつつあります。66～68歳の団塊世代が引退を考え、また団塊ジュニア世代が經營に適した年齢に達したためでしょう。当組合を含め經營者の集まりでも、事業承継の話がよくです。その問題意識の中心は、節税など、どうやって上手く事業を引き継ぐかと言うことです。

そうした話を聞くなかで私は、多くのオーナー経営者が事業承継を与件と考えているように感じます。

私も経営者として10年を経て、経営の醍醐味も理解しています。ですから、息子にもその醍醐味を味わって欲しい、あるいは自分が育ててきた事業を承継して欲しいという気持ちは分かります。特に長年経営者を務めてこられたオーナーは、最終的な決断を行うことこそ自分の仕事であり責任であると捉えています。さらに、すでに承継のための準備を行っているし、現に後継者もそれを求めている。だから、事業承継は決めたことであり、前提条件だと。

しかし、オーナーしか決断できない重要な判断だからこそもう一度立ち止まって考えてみてはどうかと思うのです。

私の実家も酒類の卸売を行っておりました。従業員数十人の家業でしたが、私たち子供はそれを引き継ぎませんでした。しかし今日、私はオーナーではないものの経営の仕事に就き日々成長しています。弟もまた、自ら起業し40歳にして30社以上からなるグループ企業を経営しています。もし家業を継いでいたら、ここまで拡大はなかっただろう。もう一人の弟も研究者の道を歩んでいますが、性格として経営者に向いているとは思いません。結果としてこの原稿を書く今まで、もし継いでいたらと考えることもありませんでした。

さらに、中小事業者数の減少が続いている卸売業において、現在魅力のある鉄螺業界も、長期的に他業界のようにならないとは言い切れません。

だからといって、承継中止を再考してはどうかと言うのではありません。事業を売却してキャッシュアウトするのも確かに一つの手段ではありますが、柔軟に選択肢を検討してはどうかと思うのです。種類株式を発行して経済的には分離しながらも経営権を維持する。資本提携を行うと同時に管理人材を招いて経営力を強化する。あるいは、事業は売却するものの経営者は続投したり、従業員の雇用を約束したりするのは日常的なことですし、大きな退職金を約束する方法もあるでしょう。事業承継も経営の一部であり、手段は多様です。

こうしたことは問題が問題ですので、自分からは助言を持ち出しにくいです。しかし、個人的にも業界へ貢献できる部分があるのでないかと思っています。

北海道

(株)谷安鉄螺
森 大助

残暑お見舞い申し上げます。暑い日が続きますが皆さまでうお過ごしでしょうか。

知っている方も知らない方もいると思いまが私は北海道生まれ、北海道育ちです。

今年のお盆休みは、実家のある北海道へ帰省してきました。

さて皆さまは北海道にどのようなイメージをおもちでしょうか?

- 食べ物がおいしい
- 涼しい
- 空気がきれい
- 自然が多い

などと思いますが、その通りです。ただ近年の温暖化により、北海道でも30度を超える日が続き、帰省の際は暑い日が続きました。北海道は夏が短いため、クーラーのある家庭が珍しく、夏は扇風機のみで過ごすため、私は大阪にいる方が涼しく感じました。

ここで皆さまに北海道の方言をご紹介したいと思います。

- なまら→すごく。とても
- ざんぎ→鳥の唐揚げ
- おっかない→怖い、恐ろしい。
- おだてる→調子に乗っている
- おだつ→はしゃぐ
- あずましくない→いごこちが悪い、安心できない

今回の帰省の際も姉にゴミをなげて（北海道弁でゴミを捨てて）と言われた息子が「ホンマにええの？」と言いながらゴミをおもいっきり投げていました。

今まで仕事で、まいど、おおきにななどの大阪弁を喋ることに抵抗を感じてきましたが、これからは北海道民であることに誇りを持ち、嘘くさい大阪弁は使わず生活していきたいです。

私の菜園

(株)コノエ
中石高嗣

14～5年ほど前に始めた家庭菜園。自宅から歩いて2～3分の近所にあり、当時は家庭菜園に取組む人が増え続けている時で、順番待ちになるくらいの人気農園？でした。女房の実家は農家でしたのに、たまに行ったときでも見ているだけで、その当時の私には土いじりは盆栽のお世話だけで畠仕事なんて考えてもいませんでした。ところが、ご近所の人たちの誘いもあり内緒で女房が申し込みをしていたのが始まりです。

まずは1区画(20m²)からのスタートでしたが、始めてみると無農薬を意識したことで採りたて野菜の美味しさに嵌ってしまいました。野菜作りも最初のうちはごく普通にキュウリ、茄子、大根、トマトといった誰もが取り組むものからでした。慣れてくると種類を増やしたいと考えるようになり1区画では狭くて植えられない。2区画続きの畠が空くのを1年ほど待ち、新しい試みで始めたのが当時の貸農園では誰も取り組んでいなかった小玉スイカに挑戦しました。

普通に植えると1区画くらいは直ぐに一杯になるので、キュウリのように柵植えして実がなれば網で吊るすように工夫しました(仕事もこれくらい頭を使えばいいのに…)。思っていたよりも上手くいったので、種類も普通のスイカだけではなく、メロンのように皮が黄色いものや黒いもので、中身は黄色や赤といった変わったスイカ作りに嵌っています。トマトも赤いトマトだけではなく黒いトマトに挑戦したり、桃太郎ゴールドという柿のようなトマトも作るようになりました。

そして、2年前からは3区画目を確保してビニールハウスを設けて温室栽培にも取り組むようになりました。今ではキャベツ、レタスなどの菜っ葉類の収穫も楽しめるようになってきましたが、無農薬野菜の唯一の悩みはナメクジや青虫が多くて困っています。

私のもう一つの家庭菜園のメリットは健康に大変な役割を持っていることです。12年ほど前に肝臓にはウコンが効くと聞いて沖縄からウコンの粉末を取り寄せて飲むようにすると、毎年の健康診断の結果で肝機能の数値が

安全値を超えていましたが、次の検査結果からは主治医の先生もビックリするくらい安全値をキープ出来るようになりました。これは放っておく手は無いと思い自家栽培をと考えて、沖縄からウコンの種を購入して栽培するようになりました。秋ウコン、春ウコン、紫ウコンと種類も増えています。今では種も自家製していますし、社内にもウコンの自家栽培仲間もできるほどになっています。

ただ一つの反省は調子に乗って耕作地を3区画にも増やしたことです。休みの日は当然のことですが、夏の暑い時期は毎日のように水やりから逃れられることです。

さあ、今日も水やりに行ってきまーす…。



炎天下の野球大会

太陽ファスナー(株)
丸山孝明

今年も夏の大鈎協の第67回の野球大会が7月26日に開幕した。私も選手の一人としてグランドに立つ事となった。野球大会への参加はこれで2回目となり、前回ほどの緊張はなくプレーを楽しめました。

私が野球と出会ったのが小学3年生のころで地元の少年野球に入団しました。チームは最弱で常に試合でコールド負けの記憶が残っています。ですがプレー一つ一つに真剣に取り組み、がむしゃらに野球を楽しんでた私がいます。小学6年生の時に全国大会への切符を手にし、滋賀県長浜市の長浜ドームで試合をしました。ドームと言う大迫力な球場で27対0の5回コールド負けで終わりました。

そして中学生になりもっと野球がうまくなりたい一心で中学のクラブとは別の硬式野球に入りました。夏の炎天下での練習に耐え日々の自主トレで3年の夏の大会で準優勝するこ

とができ、優勝こそ逃したものの充実感でいっぱいでした。

そのときに培われたことがチームプレーの大しさ「一人は皆の為に皆は一人の為(ONE・FOR・ALL・ALL・FOR・ONE)」当時の監督にチーム全員が一丸となれるように帽子の鍔の裏に書くようにと言われ、野球を通して多くのことが学べたと思います。高校生になって足の靭帯を怪我してしまい、激しいスポーツをすることを医者から禁止されて野球をする機会が減ってしまい寂しい気持ちがあり

ました。

そして社会人になり、夏の野球大会を一つの楽しみにして、今年は一回戦で惜しくも敗退してしまいました。試合の内容は3対3の引き分けジャンケン負けで悔しい想いでいっぱいです。チームのキャプテンが仕事の作業中に怪我で肘にひびが入り試合への参加ができず、戦力ダウンも大きな敗因に繋がったと思います。来年こそはいい成績が残せるように頑張っていきたいと思います。



テクノアソシエBチームが優勝

福利厚生委員会 第6回硬式テニス大会

福利厚生委員会(本田裕久委員長)は2月1日、大阪市此花区のシーサイドテニスガーデン舞洲にて「第6回大鉄協硬式テニス大会」を開催しました。当日は14チーム(計15社・74名)が出場し、テクノアソシエBチームが優勝を飾りました。

2008年から始まった同大会は当初、昨年11月に開催する予定でしたが雨天のため順延、この日の開催となったもの。前第5回大会に続いての雨天順延だっただけに、空模様が心配されましたが、今回は無事天気に恵まれました。

試合は男子・女子ダブルスの団体戦の勝ち抜き戦形式で行われ、予選で勝ったチームは決勝トーナメントに進み、予選で負けたチー

ムはコンソレーショントーナメントを戦いました。

決勝トーナメントで優勝に輝いたのはテクノアソシエBチーム、準優勝は連合Aチーム。表彰式では本田委員長から優勝チームへ表彰状とトロフィー・記念品が、準優勝チームへ表彰状と記念品が手渡され、関係者や他出場チームがその健闘を称えました。

出場チームは次の通り。池田金属工業A・B、岡總、サンコーインダストリーA・B・C、サンワ・アイ、谷川精螺、テクノアソシエA・B、藤本産業、ミヤガワ金属販売A・B、複数社による連合チームA(野島製作所、第一ボルト、N B ファスナー工業、増谷ボルト)・連合B(竹上鉄螺、コノエ、小林産業)。



優勝したテクノアソシエBチーム



テニス大会の参加者

岸和田製鋼、TONEを見学 労務委員会 19社・34名が知見広める

労務委員会（梅田真吾委員長）企画・運営による岸和田製鋼（株）やTONE（株）河内長野工場の見学会が6月4日に行われました。参加した19社・34名の社員らは、前者では電気炉による鉄筋コンクリート用棒鋼や異形棒鋼のダイナミックな製造現場、後者では各種締結工具の組立てから最終検査・包装に至る完成品仕上げの模様を、それぞれ実地研修し、知見を広めました。

岸和田製鋼（株）（大阪府岸和田市臨海町20、鞠子重孝社長）は、千葉県八代市と同所に工場を有する電炉製鋼メーカー。平成13年、新型電気炉「ECOアーク」の完成・操業もあり、昨年度実績で44万トンを製造・販売、国内30社余りの棒鋼業界で生産量“ベスト5”圏内を誇ります。約3万5000トン容量のスクラップヤードを含め、敷地面積約7万m²の同所では、鉄筋コンクリート用棒鋼や異形棒鋼（D10～D41）を生産しています。

最初に、厚生棟3階の会議室で岸和田ステンレス（株）深川智洋・営業部長や、岸和田製鋼（株）製造・安全管理スタッフの紹介や藤澤副理事長による挨拶、PRビデオを通じた概要説明の後、2班に分かれ製鋼から圧延まで一貫生産される模様を見学しました。

電気炉から1回約45分をかけ約70トン出鋼される熔鋼は、マンガンなど合金成分を調整後、毎分3mのスピードで動く4ストランドの連続鋳造設備により一旦140mm角のビレットに。これを計19台の圧延スタンンドで最終的に全長20m前後、最小直径では10mmの棒鋼に仕上げられ放冷、そして切断・結束という流れ。電気炉をはじめ各工程で様々なセンサーが機能し、安全や品質管理面だけでなく、随所で発生する排熱・予熱を利用し使用電力を少なくする工夫も凝らされています。

見学後は質疑応答を経てバスに乗車、車中で昼食を済ませた一行は次の見学先であるTONE（株）河内長野工場へ向かいました。

“ボルティングソリューションカンパニー”的TONE（株）（本社・大阪市浪速区、松村昌造社長）は、東証2部上場のプロ用作業工具や各種産業用動力工具、トルク管理機器類の専門メーカー。大阪府下・富田林市の材料加工・鍛造を主とする工場と、河内長野市に組立・検査・物流・品証・企画・販売を担う工場ほか、全国9カ所に営業所を持っており、本年6月にはトルクレンチの製造・検査を行うベトナム工場も稼働を開始しました。

河内長野工場の会議室に案内された一行は、最初に矢野大司郎・取締役営業本部長をはじめ営業・開発スタッフらと対面。PRビデオなどによる会社概要説明を受けた後、計5班に分かれ同工場内の組立作業や検査の模様、ショールームなどを見て回りました。

ソケットレンチやツールセット、インパクト用ソケット、トルクレンチ、シャーレンチ、電動レンチや手動・電動によるボルト締付機など、同社の製品バリエーションは多岐にわたります。基本は回転角法によるトルク管理で、トルシア形高力ボルトを用いた締付けデモでは、参加者ひとり一人が専用工具を使い、締付け→先端ピンテール部の破断で作業完了確認を実体験するなど、日頃の業務では味わえない有意義なひと時を過ごしました。

見学後の質疑応答でも、商品開発や日本と海外の製品（工具）仕様の違いなど活発な一問一答が繰り広げられ、全予定終了後、参加者は難波で解散、帰途に着きました。



岸和田製鋼



TONE



野島製作所チームが優勝

福利厚生委員会 第41回ボウリング大会

恒例の第41回ファミリーボウリング大会が、福利厚生委員会(本田裕久委員長)の企画・運営により2月22日、大阪市港区の“弁天町グランドボウル”にて開催され、参加33チームのなかで野島製作所チームが561.7点の好成績で優勝しました。

当日は13社と同委員会から計33チーム・98名が参加、本田委員長による開会挨拶、会場説明のあと、正副委員長3名が始球式を行い競技が開始されました。

各自3ゲームの競技終了後は表彰式も行われ、優勝した野島製作所チーム(海中一泰、海中美幸、野島淳の各氏)を始め、優秀な成績を残したチームや個人にトロフィーや記念品が手渡されました。

当日の主な結果は次の通り(敬称略)。

△団体(得点は3Gアベレージ、ハンデを含む)

優勝=野島製作所 561.7点、

準優勝=コノエA 530.7点、

③大丸鉄螺製作所A 523.0点。

▽個人(ハンデ含む3Gトータル、男子)

優勝=海中一泰(野島製作所) 649点、

準優勝=大信拓也(コボリ) 585点、

③古津大介(コノエ) 554点。

同ハイゲーム 海中一泰(野島製作所) 235点。

▽個人(同・女子)

優勝=岡田恵美子(コノエ) 629点、

準優勝=海中美幸(野島製作所) 572点、

③西尾絵理(大丸鉄螺製作所) 507点。

同ハイゲーム 岡田恵美子(コノエ) 208点。



優勝した野島氏(中央)
はじめ上位入賞チーム代表者



男子の
上位入賞者



女子の
上位入賞者



中之島でリレーマラソン 第4回 ランニング同好会

『第4回大鉄協ランニング同好会』が4月19日、大阪市北区の中之島公園一帯で開催されました。

世話を務めるのは増谷彰彦氏。当日は延べ8社から計21名が参加、今回もスポーツ用品メーカー・ミズノの協力により、集合時こそ一時小雨に遭ったものの、その後好天となり参加者は颯爽とランニング、清々しい汗を流しました。

午前8時30分、淀屋橋のミズノに集合し、地下1階のロッカーで着替えを済ませた参加者は、各々ニックネーム付きのゼッケンをつけて貰い和気あいあいとスタート。今回も初級(約6km)と中級(約10km)にメニューを分け、フォームの矯正や基本的なストレッチなどに加え、最後は3チームに分かれてリレーマラソンも行いました。

リレーマラソンは約1kmのコースを周回するもので、チーム対抗となると互いにヒート

アップし、次第に走るスピードも上がっていきました。このほかインストラクターからは、走り方は勿論、ストレッチの方法、長く早く走ることが出来るためのトレーニング方法、靴ひもの締め方に至るまで、様々なランニングに関する相談にも乗って貰い、参加者は約半日ランニングを楽しみました。

「今回も結構キツかったみたいだが皆さん堪能されていた」(増谷氏)様子で、程良い汗をかいた後は、ロッカールームに併設されたシャワー室を借り、サッパリ・充実した気分でそれぞれ家路に着きました。



参加ランナー



シリーズ 私の宝物

「30年前の変身写真」

アジアプランニング(株)
近 藤 淳

例えば、祇園祭の宵宮、大路の夕暮れを背景に、ライトアップされる山鉾。その前には、鉾を好奇の眼差しで見つめる、一群のゆかた姿の美しい娘達。京女—それも西陣のお嬢さん方なら上出来だけれど、そこから聞こえるのは、正調中国語と云うケースは、今の京都では当たり前となっている。

都では、ゆかたのレンタル業は、大流行である。ただ貸すだけでなく、プロの技で美しく着付けまでしてくれるから、国籍に関わらず女性の心を捉えて離さないだろう。

実は、私の宝物も30年前にとった変身写真である。台北の大きな写真館で、照明係やメークさん、撮影助手を従えて撮影されたものだから、素晴らしい出来上がりである。撮影で、私は仕立てのいい、濃紺の中国服と、紅い上着を着用している。富裕な若旦那の様でも在るし、漢詩を読む文人の様子でも在る。かくして、写真写りの良さに、お気に入りの一枚となったのである。

「変身」は、巧妙であればある程、陶酔感が増すようだ。考えてみれば、ゆかた姿の女性も、中国服を着たおじさんも、異国の衣装を身に纏い、変身せねばならない、差し迫った必要は無かつただろう。つまり警察に追われて変身しているわけではないと言うことだ。ちょっとした遊び心に過ぎない。それにしても、変身願望は世の常だ。人はどうして、こうも

変身したがるのか、答えを予想して見よう。

誰もが、今の自分より、もっと別な生き方が在るのではと、潜在的に考えているからではないだろうか。どんな人間でも、生まれ変わったらと、一度や二度は、思うことは有るのだから。もう一人の自分を演じる、或は、夢を疑似体験化したい、と言う行動が生まれるのに違いない。異国の服を着て、異国の人振りをして見ようとするのも、大いに納得できることである。

さて、30年前の私が、何を思い、異国の服に袖を通したのか、自分の何を変えようとしたのか、何を夢見たのか、そして、その夢は実現したか。今は語る時ではないと思う。ただ一枚の変身写真を大切に持っていることは、整理整頓ができない私にとって稀有なことである。だから宝物としておこう。

最後に、変身写真の横に寄り添う絶世の美女が(??)、後の家内であることは言うまでもない。次回は、私の宝物は「家内」と言えるように、「心」の変身を遂げたいものである。



表紙のことば

ヨーロッパスキーリー旅

(有)藤森製作所 藤森 勝治

アルプスに抱かれたスイスのスキー場のツェルマットに行ってきました。街の中心から出るアパート式の登山電車で揺られて約40分、終点のゴルナグラート駅(標高3,089m)に着く。冬晴れの雲ひとつない空に向かって聳えるマッターホルンを目の当たりにして大感激。

そこから、またゴンドラなどを乗り継ぎ3,800m地点まで登る(富士山より高い)。

ここからスキーの滑降が始まる。広大なゲレンデをこのまま下っていけばツェルマット。左手に行き、山に連なる峠の国境を越えてイタリヤに滑り込んでいく。

しばらくして振り返ると、四角錐に見えていたマッターホルンの山容が全く変わって見えてびっくり。名前もイタリヤ読みでツェルヴィーノなっていた。スイスワインとイタリヤワインの旅でした。シーハイル!



今後の主な年間スケジュール

2015.9

日 時				行 事 (予 定)	場 所
9 9 18	水 水 金	13:30 15:00		三役会 理事会 広報誌(89号)発行	事務局 健保会館
10	2~3		9:00	第22回 FEセミナー(図面の見方・描き方)	テクノセンター東大阪
11 11 11 13	日 水 水 金	13:30 15:00 9:00		第7回テニス大会 三役会 理事会 第4回 FEセミナー(Jrコース)	シーサイドテニスガーデン舞洲 事務局 健保会館 鉄鋼会館
12 12	4 4	金 金	16:30 18:30	講演会 忘年会	グランヴィア大阪 グランヴィア大阪
2016 1	8	金	10:00	新年互礼会(合同開催)	シティプラザ大阪
2	19 19 19 28	金 金 金 日	14:30 16:00 9:30	広報誌(90号)発行 三役会 理事会/役員懇親会 第42回ボウリング大会	ヴィアーレ大阪 ヴィアーレ大阪 弁天町グランドボウル
3	4~5 9 9	水 水	13:30 15:00	第29回 FEセミナー(Stコース) 三役会 理事会	鉄鋼会館 事務局 健保会館
4	20 20	水 水	11:30 14:00	三役会 理事会	事務局 健保会館
5	20	金	14:00	通常総会(理事会)	ヴィアーレ大阪
6	8 8	水 水	13:30 15:00	三役会 理事会	事務局 健保会館
7	中旬 未定	日		ねじ流通商社経営実態調査 第68回野球大会①	(8月回収) 村田機械(神足球場)
8	未定 未定	日 日		第68回野球大会② 第68回野球大会③	村田機械(神足球場) 未定

*6月以降は予定です。

編 集 後 記

2015年、猛暑の夏が終わりましたが、世界経済の混乱と政治情勢の緊張、世界のどこかで大きな(爆発)事故などが続いています。

秋涼の爽やかさと、経済は安定し平和で安全な日常に、一日も早く戻れますように…

『大鉄協』89号にご寄稿頂きました皆様には、心からの感謝を申し上げます。

(松元 收)

発行所
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10
(ツチノビル)

大阪鉄螺卸商協同組合

電話 (06) 6271-4550

印刷所
〒537-0013 大阪市東成区大今里南2-5-5

株式会社 ベン・アート

電話 (06) 6973-3338

大阪鉢螺卸商協同組合の 保険相談窓口

大阪鉢螺卸商協同組合では、組合員の皆様のための、保険相談窓口をご用意しております。既にご加入の保険の見直しや、新たにご加入になるときのご相談等を承っておりますので、是非ご活用ください。

取扱商品



医療・がん・傷害保険

生命保険

自動車保険



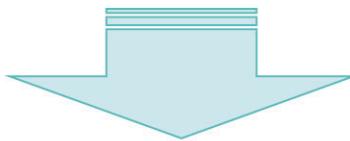
超保険
超ビジネス保険

火災保険

賠償責任保険

* 生命保険・医療・がん保険のお引き受けは、東京海上日動あんしん生命(株)の商品で
(株)東海日動パートナーズかんさい 大阪南支店にて引き受けとなります。

この他にも多数商品を取り揃えております。
お見積もり、ご相談は無料ですので、
お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先

大阪鉢螺卸商協同組合

担当：中西

〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10

ツチノビル

TEL 06-6271-4550 FAX 06-6271-0514

提携代理店

株式会社東海日動パートナーズかんさい

TEL 06-6649-6727

大阪南支店 担当：井上

FAX 06-6649-6715

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-6-8 一栄ビル4F

引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社

大阪南支店 直轄S

TEL 06-6203-0821